

## 略歴

令和2年10月1日現在

氏名	片岡 一則	生年月日	昭和25(1950)年11月27日(69歳)
現職 (専門分野)	国立大学法人東京大学名誉教授・未来ビジョン研究センター特任教授 公益財団法人川崎市産業振興財団副理事長・ナノ医療イノベーションセンター・センター長 (バイオマテリアル・ドラッグデリバリーシステム)		
国籍 本籍地	日本 (東京都)		
学位	昭和54(1979)年3月 工学博士(東京大学)		
経歴	昭和45(1970)年3月 東京教育大学附属高等学校卒業 昭和49(1974)年3月 東京大学工学部合成化学科卒業 昭和51(1976)年3月 東京大学大学院工学系研究科修士課程修了 昭和54(1979)年3月 東京大学大学院工学系研究科博士課程修了 昭和54(1979)年4月 東京女子医科大学医用工学研究施設 助手 昭和55(1980)年4月 東京女子医科大学日本心臓血管研究所助手 昭和61(1986)年3月 東京女子医科大学医用工学研究施設専任講師 昭和63(1988)年8月 東京女子医科大学医用工学研究施設助教授 平成元(1989)年4月 東京理科大学基礎工学部材料工学科助教授 平成6(1994)年10月 東京理科大学基礎工学部材料工学科教授 平成10(1998)年4月 東京大学大学院工学系研究科材料学専攻教授 平成13(2001)年4月 独立行政法人物質・材料研究機構生体材料研究センター ディレクター(兼任) 平成14(2002)年4月 東京大学大学院工学系研究科マテリアル工学専攻教授 (専攻改組) 平成16(2004)年7月 同 医学系研究科附属疾患生命工学センター 臨床医工学部門教授(併任) 平成17(2005)年9月 東京大学ナノバイオ・インテグレーション研究拠点 拠点リーダー(兼任) 平成20(2008)年8月 グローバルCOE「学融合に基づく医療システム イノベーション」拠点リーダー(兼任) 平成21(2009)年 内閣府最先端研究開発支援プログラム研究課題名 「ナノバイオテクノロジーが先導する診断・治療イノベーション」中心研究者 平成27(2015)年7月 (公財)川崎市産業振興財団ナノ医療イノベーションセン ター(iCONNM)センター長(至現在) 平成28(2016)年4月 東京大学未来ビジョン研究センター特任教授(至現在) 平成28(2016)年6月 東京大学名誉教授(至現在) 平成28(2016)年7月 (公財)川崎市産業振興財団副理事長(至現在)  平成4(1992)年・8(1996)年 パリ大学客員教授 平成20(2008)年01月 ミュンヘン大学客員教授 平成22(2010)年11月 浙江大学客員教授 平成24(2012)年 四川大学名誉教授 平成27(2015)年10月 ノースカロライナ大学チャペルヒル校薬学部兼任教授 (Adjunct Professor)(至現在)		

受賞歴	平成 5(1993)年 10月	日本バイオマテリアル学会賞
	平成 12(2000)年 5月	高分子学会賞
	平成 17(2005)年 4月	Clemson Award, Society for Biomaterials
	平成 20(2008)年 7月	Founder's Award, Controlled Release Society
	平成 21(2009)年 7月	NIMS Award
	平成 22(2010)年 4月	文部科学大臣表彰科学技術賞
	平成 24(2012)年 3月	フンボルト賞
	平成 24(2012)年 7月	江崎玲於奈賞
	平成 26(2014)年 5月	高分子学会高分子科学功績賞
	平成 27(2015)年 5月	グーテンベルグ賞
	平成 29(2017)年 2月	米国工学アカデミー (United States National Academy of Engineering) 外国人会員 米国発明家アカデミー (National Academy of Inventors) フェロー
	平成 29(2017)年 12月	高松宮妃癌研究基金学術賞
	平成 30(2018)年 8月	マインツ大学名誉博士号授与

# 片岡 一則 教授（東京大学名誉教授・未来ビジョン研究センター特任教授）



## 片岡 一則（かたおか かずのり）（69歳） 東京大学未来ビジョン研究センター特任教授

### 【略歴】

- 昭和45(1970)年 3月 東京教育大学附属高等学校卒業  
昭和49(1974)年 3月 東京大学工学部合成化学科卒業  
昭和51(1976)年 3月 東京大学大学院工学系研究科修士課程修了  
昭和54(1979)年 3月 東京大学大学院工学系研究科博士課程修了  
昭和54(1979)年 4月 東京女子医科大学医用工学研究施設 助手  
昭和55(1980)年 4月 東京女子医科大学日本心臓血管研究所助手  
昭和61(1986)年 3月 東京女子医科大学医用工学研究施設専任講師  
昭和63(1988)年 8月 東京女子医科大学医用工学研究施設助教授  
平成元(1989)年 4月 東京理科大学基礎工学部材料工学科助教授  
平成 6(1994)年10月 東京理科大学基礎工学部材料工学科教授  
平成10(1998)年 4月 東京大学大学院工学系研究科材料学専攻教授  
平成13(2001)年 4月 独立行政法人物質・材料研究機構生体材料研究センターディレクター（兼任）  
平成14(2002)年 4月 東京大学大学院工学系研究科マテリアル工学専攻教授（専攻改組）  
平成16(2004)年 7月 同 医学系研究科附属疾患生命工学センター臨床医工学部門教授（併任）  
平成17(2005)年 9月 東京大学ナノバイオ・インテグレーション研究拠点拠点リーダー（兼任）  
平成20(2008)年 8月 グローバルCOE「学融合に基づく医療システムイノベーション」  
拠点リーダー（兼任）  
平成21(2009)年 内閣府最先端研究開発支援プログラム研究課題名「ナノバイオテクノロジー  
が先導する診断・治療イノベーション」中心研究者  
平成27(2015)年 7月 (公財)川崎市産業振興財団ナノ医療イノベーションセンター(iCONM)セン  
ター長（至現在）  
平成27(2015)年 10月 米国ノースカロライナ大学薬学部 兼任教授 (Adjunct Professor)（至現在）  
平成28(2016)年 4月 東京大学未来ビジョン研究センター特任教授（至現在）  
平成28(2016)年 6月 東京大学名誉教授（至現在）  
平成28(2016)年 7月 (公財)川崎市産業振興財団副理事長（至現在）

- 高分子の医薬を創製し、難治がんの標的治療に世界で初めて成功した。
- 開発した高分子医薬によって負担が少なく効果に優れた難病治療法の確立へ。

## 功 績

1984年、高分子医薬に関する研究を開始。

1989年、動物実験でがんの治療に成功。  
⇒ がん局所への標的指向性を証明。  
⇒ 世界で初めて抗がん剤の標的治療実現。

当該成果が高分子医薬の有効性の証明につながり、高分子化学や医学に大きなインパクト。

今後、がん以外の難病治療分野や製薬産業への波及効果が期待。

## がん選択的に薬剤や造影剤を送達し、治療と診断を行う ウイルスサイズの高分子医薬

